

**環境森林部所管工事
出来形管理基準及び規格値**

令和 3 年 4 月
(令和 7 年 4 月改定)
宮崎県環境森林部

環境森林部所管工事出来形管理基準

環境森林部所管工事の留意事項

第1節 適用

環境森林部所管工事出来形管理基準は、宮崎県環境森林部が発注する工事(以下「工事」という。)に係る、出来形管理基準について定めたものである。

なお、以下の工種については、環境森林部独自の取り扱いがあることから、これを適用するものとする。
それ以外については県土整備部「出来形管理基準」を適用するものとする。

目 次

環境森林部所管工事出来形管理基準一覧

【第1編 共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第2章 土工						
第3節 治山土工(河川土工・海岸土工・砂防土工)	2-3-7		残土処理工			環-1
第4節 林道土工(道路土工)	2-4-6		残土処理工		第1編2-3-7残土処理工	環-1

【第11編 治山編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第1章 山腹基礎工及び落石防止工						
第2節 適用すべき諸基準	1-3-2		一般事項			
第3節 土工	1-3-2	1	切取(法切工)		第12編 第1章 林道工 第1節 適用 3横断	環-13
	1-3-2		コンクリート土工			環-1
	1-3-3		鉄筋コンクリート土工			環-1
	1-3-4		練積土工			環-1
	1-3-5		鉄線かご土工		第3編2-3-27羽口工	
	1-3-6		鉄筋コンクリート枠土工			環-3
	1-3-7		土のう積土工		第11編2-4積苗工	環-7
	1-3-8		校倉式木製土工			環-3
第4節 埋設工	1-4		コンクリートブロック積工			環-1
			コンクリート土工		第11編1-3-2コンクリート土工	環-1
第5節 水路工	1-5-2		練張及び空張水路工	練張水路工 空張水路工	第3編2-5-5石積(張)工 第3編2-5-5石積(張)工	
	1-5-3		張芝水路工			環-5
	1-5-4	1	コンクリート水路工		第3編2-3-29側溝工	
		2	コンクリート管等水路工		第3編2-3-29側溝工	
		3	半円コンクリート		第3編2-3-29側溝工	
	1-5-5		鉄線かご水路工		第3編2-3-27羽口工	
	1-5-6		コルゲート管水路工		第3編2-3-29側溝工	
	1-5-7		土のう水路工		第11編1-5-3張芝水路工	環-5
	1-6-2		機暗渠工			環-5
	1-6-3		かご暗渠工		第3編2-3-27羽口工	
第6節 暗渠工	1-6-4		集水管暗渠工			環-5
	1-6-5		ボーリング暗渠工		第8編3-7-4集排水ボーリング工	
第7節 法枠工	1-7-3	1	法枠工	現場打法枠工 現場吹付法枠工		環-5
		2	法枠工	プレキャスト法枠工		環-5
第8節 落石防止工	1-8-1	1	落石防止網工		第10編1-11-4落石防止網工	
	1-8-2		落石防止柵工		第10編1-11-5落石防護柵工	
第2章 山腹緑化工						
第3節 柵工	2-3		編柵			環-5
			木柵			環-5
			板柵			環-5
			二次製品			環-5
第4節 筋工	2-4	1	筋工	石筋 畳筋 芝筋 そだ筋 二次製品		環-7
				(二次製品を含む)		環-7
		2	積苗工			環-7
			芝伏			環-7
			そだ伏			環-7
			むしろ伏			環-7
			網伏			環-7
			二次製品			環-7
第6節 芝付工	2-6		芝付工	張芝工 筋芝工 市松芝工		環-7
				種子散布工 植生吹付工 客土吹付工 コンクリート モルタル		環-7
第7節 実播工	2-7		実播工			環-7
第9節 セメント類吹付工	2-9		吹付工			環-7
第10節 土塁工	2-10					環-9
第11節 植栽工	2-11-3		植付			環-9
第3章 溪間工						
第4節 コンクリートダム	3-4	1	コンクリートダム	堰堤工 谷止工 床固工 帯工 垂直壁 副堤		環-9
						環-9
						環-9
						環-9
						環-9
						環-9
		2	側壁工	コンクリート コンクリートブロック ふとんかご コンクリート		環-9
						環-9
						環-9
		3	水叩工			環-9
						環-9
		1	鋼製ダム工	不透水型		環-11
		2	鋼製ダム工	透過型		環-11
		3	鋼製側壁工			環-11
	3-6-1		木製ダム		第11編3-5コンクリートダム	環-9
	3-6-2		校倉式木製ダム			環-11
第7節 護岸工	3-7-2	1	基礎工		第3編2-4-3基礎工(護岸)	
		2	捨石工		第3編2-3-19捨石工	
		3	場所打コンクリート		第7編1-5-5場所打コンクリート	
		4	根固コンクリートブロック工		第3編2-3-17根固めブロック工	
第8節 水制工	3-8		水制工		第11編3-8護岸工	
第9節 流路工	3-9-2		コンクリート三面張流路工			環-11
	3-9-3		鉄筋コンクリート流路工			環-11
	3-9-4		コンクリートブロック流路工			環-11
	3-9-5		木製流路工		第11編3-10-2コンクリート三面張流路工	環-11
第10節 かご工	3-10-1		鉄線じやかご工		第3編2-3-27羽口工	
	3-10-2		ふとんかご工		第3編2-3-27羽口工	

環境森林部所管工事出来形管理基準一覧

第4章 地すべり防止工					
第4節 暗渠工	4-4		暗渠工	第11編1-6暗渠工	環-5
第5節 集水井工	4-5		集水井工	第8編3-7-5集排水工	
	4-5-4		集排水ボーリング	第8編3-7-4集排水ボーリング工	
第7節 地下水遮断工	4-7		排水ボーリング	第8編3-7-4集排水ボーリング工	
第8節 排土工	4-8	1	排土工	第1編2-3-2掘削工	
		2	残土処理	第1編2-3-7残土処理工	環-1
第9節 押え盛土	4-9		押え盛土	第1編2-3-3盛土工	
第10節 溪間工	4-10		大型ブロック	第11編1-3-4コンクリートブロック工	環-1
第11節 擁壁工	4-11		擁壁工	第11編1-3-2場所打擁壁工	環-1
第12節 杭打工	4-12		杭打工	第3編2-4基礎工	環-1
第14節 アンカー工	4-14		アンカー工	環境森林部所管工事 アンカー工施工管理基準	
第5章 海岸砂地造林					
第4節 砂地造林	5-4-1	1	静砂垣工		環-13
	5-4-2	2	植栽工	防風柵	環-13
				防風ネット	環-13
第6章 海岸工事					
第3節 護岸基礎工	6-3-3		捨石工	第3編2-3-19捨石工	
	6-3-4		場所打コンクリート	第7編1-5-5場所打コンクリート工	
	6-3-5	1	海岸コンクリートブロック工	第7編1-5-6海岸コンクリートブロック工	
		2	海岸コンクリートブロック工	第7編2-6-3根固めブロック工	
		3	海岸コンクリートブロック工	消波ブロック工	
		4	海岸コンクリートブロック工	第7編2-7-3消波ブロック工	
				ブロック製作	環-13
	6-3-6		筈コンクリート工	第3編2-4-3基礎工(護岸)	
	6-3-7		法留基礎工	第3編2-4-3基礎工(護岸)	
	6-3-8		矢板工	第3編2-3-4矢板工	
第4節 護岸工	6-4-3		捨石張工	第3編2-5-5石積(張)工	
	6-4-4		石張・石積工	第3編2-5-5石積(張)工	
	6-4-5		海岸コンクリートブロック工	第7編1-6-4海岸コンクリートブロック工	
	6-4-6		コンクリート被覆工	第7編1-6-4コンクリート被覆工	
	6-4-7		現場打擁壁工	第11編1-3-2場所打擁壁工	環-1
第5節 天端被覆工	6-5-2		コンクリート被覆工	第7編1-8-2コンクリート被覆工	
	6-5-3		アスファルト被覆工	第7編1-8-2コンクリート被覆工	
第6節 波返工	6-6-3		波返工	第7編1-9-3波返工	
第7節 表法被覆工	6-7-2		石積・石張工	第3編2-5-5石積(張)工	
	6-7-3		コンクリートブロック工	第3編2-5-5コンクリートブロック工	
	6-7-4		コンクリート被覆工	第7編1-6-5コンクリート被覆工	
	6-7-5		アスファルト被覆工	第7編1-6-5コンクリート被覆工	
	6-7-6		法枠工	第11編1-7-3法枠工	環-7
第8節 水路工	6-8-2		削溝工	第3編2-3-29削溝工	
	6-8-3		集水樹工	第3編2-3-30集水樹工	
	6-8-6		暗渠工	第3編2-3-29削溝工	
第9節 付属物設置工	6-9-4		階段工	第3編2-3-22階段工	
	6-9-5		防止柵工	第3編2-3-7防止柵工	

環境森林部所管工事出来形管理基準一覧
【第12編 林道編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第1章 林道工						
第1節 適用						
		1	平面			環-13
		2	縦断			環-13
		3	横断			環-13
第3節 路盤工						
	1-3-2		切込砕石路盤工			環-13
	1-3-3		コンクリート路面工			環-13
第4節 排水施設工						
	1-4-3		場所打コンクリート側溝工		第3編2-3-29側溝工	
	1-4-4		鉄筋コンクリートU型側溝工		第3編2-3-29側溝工	
	1-4-5		場所打コンクリートL型側溝工		第3編2-3-29側溝工	
	1-4-6		木製側溝工		第3編2-3-29側溝工	
	1-4-7		木製横断溝工		第3編2-3-29側溝工	
	1-4-8		場所打コンクリート横断溝工		第3編2-3-29側溝工	
	1-4-9		プレキャストコンクリート横断溝工		第3編2-3-28プレキャストカルバート工	
	1-4-10		パイプカルバート工(ヒューム管等)		第3編2-3-28プレキャストカルバート工	
	1-4-11		コルゲートパイプ、U字フリューム管及びベンチフリューム管工		第3編2-3-28プレキャストカルバート工	
	1-4-12		ボックスカルバート工		第3編2-3-28プレキャストカルバート工	
	1-4-13		集水樹工		第3編2-3-30集水樹工	
	1-4-14		暗渠排水工		第11編1-6暗渠工	環-5
第5節 防護施設工						
	1-5-1		防護施設工	ガードレール ガードケープル	第3編2-3-8路側防護柵工	
	1-5-2		木製ガードレール設置工		第3編2-3-8路側防護柵工	
	1-5-3		駒止工		第3編2-4-3基礎工(護岸)	
	1-5-4		道路反射鏡(カーブミラー)		第3編2-3-6小型標識工	
	1-5-5		道路標識		第3編2-3-6小型標識工	
第6節 擁壁工						
	1-6-2		コンクリートブロック積工		第11編1-4コンクリートブロック積工	環-3
	1-6-3		コンクリート擁壁工		第11編1-3-2コンクリート土留工	環-1
	1-6-4		場所打鉄筋コンクリート擁壁工		第11編1-3-3鉄筋コンクリート土留工	環-1
	1-6-5		プレキャストコンクリート擁壁工			環-1
	1-6-6		補強土壁工			環-1
第7節 法面工						
	1-7-1				第11編2-3柵工	環-5
	1-7-2		筋工		第11編2-4筋工	環-5
	1-7-3		植生工		第11編2-7表播工(植生吹付工)	環-5
	1-7-4		ラス張工		第11編2-5伏工	環-7
	1-7-6		植生帯付植生ネット		第11編2-5伏工	環-7
	1-7-7		法枠工		第11編1-7法枠工	環-5
	1-7-8		アンカー工		環境森林部所管工事 アンカー工施工管理基準	
	1-7-9		PCフレーション工		第11編1-7法枠工	環-5
	1-7-10		かご工		環境森林部所管工事 アンカー工施工管理基準	
	1-7-11		丸太法面保護工		第3編2-3-27羽口工	
第8節 セメント類吹付工						
	1-8		吹付工	コンクリート モルタル	第11編2-9セメント類吹付工	環-7
第2章 舗装						
第3節 地盤改良工						
	2-3-2		路床安定処理工		第3編2-7-2路床安定処理工	
	2-3-3		置換工		第3編2-7-3置換工	
第4節 舗装工						
	2-4-5		アスファルト舗装工		第3編2-6-7アスファルト舗装工	
	2-4-6		半たわみ性舗装工		第3編2-6-8半たわみ性舗装工	
	2-4-7		排水性舗装工		第3編2-6-9排水性舗装工	
	2-4-8		透水性舗装工		第3編2-6-10透水性舗装工	
	2-4-9		グースアスファルト舗装工		第3編2-6-11グースアスファルト舗装工	
	2-4-10		コンクリート舗装工		第3編2-6-12コンクリート舗装工	
	2-4-11		薄層カラー舗装工		第3編2-6-13薄層カラー舗装工	
	2-4-12		ブロック舗装工		第3編2-6-14ブロック舗装工	
第5節 排水構造物工(路面排水工)						
	2-5-3		側溝工		第3編2-3-29側溝工	
	2-5-4		管渠工		第3編2-3-29側溝工	
	2-5-5		集水樹(街渠樹)・マンホール工		第3編2-3-30集水樹工	
	2-5-6		地下排水工		第11編1-6暗渠工	
	2-5-7		場所打水路工		第3編2-3-29側溝工	
	2-5-8		排水工(小段排水・縦排水)		第3編2-3-29側溝工	
第6節 緑石工						
	2-6-3		緑石工		第3編2-3-5緑石工	
第8節 防護柵工						
	2-8-3		路側防護柵工		第3編2-3-8路側防護柵工	
	2-8-4		防止柵工		第3編2-3-7防止柵工	
	2-8-5		ボックスビーム工		第3編2-3-8路側防護柵工	
	2-8-6		車止めポスト工		第3編2-3-7防止柵工	
第9節 標識工						
	2-9-3		小型標識工		第3編2-3-6小型標識工	
	2-9-4		大型標識工	標識基礎工	第10編2-9-4大型標識工(標識基礎工)	
		2	大型標識工	標識柱工	第10編2-9-4大型標識工(標識柱工)	
第10節 区画線工						
	2-10-2		区画線工		第3編2-3-9区画線工	
第3章 橋梁下部						
第4章 橋梁上部						
第5章 コンクリート上部						
第6章 鉄筋コンクリート橋						
第7章 木橋						
第8章 トンネル(NATM)						
					第10編8章	

【第13編 自然公園編】

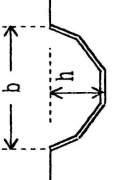
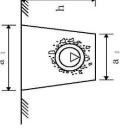
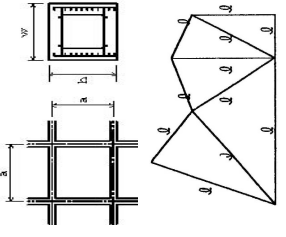
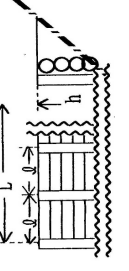
章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第1章 自然公園施設整備工						
第4節 歩道整備工						
	1-4	1	路盤工	レンガ・タイル系歩道工		環-15
				樹脂系歩道工		環-15
				石材系歩道工		環-15
		2	表層工	ダスト・土系歩道工		環-15
				レンガ・タイル系歩道工		環-15
				木チップ歩道工		環-15
				樹脂系歩道工		環-15
				石材系歩道工		環-15
	1-4-12		歩道緑石工			環-15
	1-4-13		視覚障害者誘導ブロック工			環-15
	1-4-14		区画線工		第3編2-3-9区画線工	環-15
	1-4-15		階段工	コンクリート階段工		環-15
				凝石階段工		環-15
				自然石階段工		環-15
				丸太階段工		環-15
第5節 管路整備工						
	1-5-1		給水管路工			環-15
	1-5-2		マンホール工		第3編2-3-30集水樹工	
	1-5-3		地下排水工		第3編2-3-29暗渠工	
	1-5-4		電線管路工			
第6節 利用施設整備工						
	1-6		利用施設整備工	四阿工		環-17
				ベンチ工		環-17
				ベンチ・テーブル工		環-17
				野外炉工		環-17
				車止め工		環-17
第7節 照明設備工						
	1-7	1	ハンドホール		第3編2-3-21ハンドホール工	
第8節 浄化槽工						
	1-8-1	2	照明設備工			環-17
	1-8-2		汚水樹・マンホール工		第3編2-3-30集水樹工	
			浄化槽工		第3編2-3-30集水樹工	
			木道工			環-17
			木橋工(歩道工)			環-17

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
1 共通編	2 土工	3 治山土工	7		残土処理工	法長	Δ
							-4%
11 治山編	1 山腹基礎工及び落石防止工	3 土留工	2 3		(一般事項) 場所打擁壁工	基準高	▽
						厚さ	t
						裏込厚さ	w1、w2
						幅	-30
						延長	-200
11 治山編	2 一般施工	15 擁壁工 共通	2		プレキャスト擁壁工	基準高	▽
						延長	
							±50
							-200
11 治山編	2 一般施工	15 擁壁工 共通	3		補強土壁工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	基準高	▽
						高さ	h
						長さ	h
						鉛直度	Δ
						控え長さ	±0.03hかつ±300以内
11 治山編	3 石・ブロック積(張)工	15 擁壁工 共通	4	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積) (コンクリートブロック石積(張)工)	基準高	▽
						法	φ<3m
						長	φ≧3m
						厚さ(ブロック積張)	t1
						厚さ(裏込)	t2
11 治山編	1 山腹基礎工及び落石防止工	3 土留工	2 3		(一般事項) 場所打擁壁工	基準高	▽
						厚さ	t
						裏込厚さ	w1、w2
						幅	-30
						延長	-200
11 治山編	2 一般施工	15 擁壁工 共通	2		プレキャスト擁壁工	基準高	▽
						延長	
							±50
							-200
11 治山編	2 一般施工	15 擁壁工 共通	3		補強土壁工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	基準高	▽
						高さ	h
						長さ	h
						鉛直度	Δ
						控え長さ	±0.03hかつ±300以内
11 治山編	3 石・ブロック積(張)工	15 擁壁工 共通	4	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積) (コンクリートブロック石積(張)工)	基準高	▽
						法	φ<3m
						長	φ≧3m
						厚さ(ブロック積張)	t1
						厚さ(裏込)	t2
11 治山編	1 山腹基礎工及び落石防止工	3 土留工	2 3		(一般事項) 場所打擁壁工	基準高	▽
						厚さ	t
						裏込厚さ	w1、w2
						幅	-30
						延長	-200
11 治山編	2 一般施工	15 擁壁工 共通	2		プレキャスト擁壁工	基準高	▽
						延長	
							±50
							-200
11 治山編	2 一般施工	15 擁壁工 共通	3		補強土壁工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	基準高	▽
						高さ	h
						長さ	h
						鉛直度	Δ
						控え長さ	±0.03hかつ±300以内
11 治山編	3 石・ブロック積(張)工	15 擁壁工 共通	4	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積) (コンクリートブロック石積(張)工)	基準高	▽
						法	φ<3m
						長	φ≧3m
						厚さ(ブロック積張)	t1
						厚さ(裏込)	t2
11 治山編	1 山腹基礎工及び落石防止工	3 土留工	2 3		(一般事項) 場所打擁壁工	基準高	▽
						厚さ	t
						裏込厚さ	w1、w2
						幅	-30
						延長	-200
11 治山編	2 一般施工	15 擁壁工 共通	2		プレキャスト擁壁工	基準高	▽
						延長	
							±50
							-200
11 治山編	2 一般施工	15 擁壁工 共通	3		補強土壁工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	基準高	▽
						高さ	h
						長さ	h
						鉛直度	Δ
						控え長さ	±0.03hかつ±300以内
11 治山編	3 石・ブロック積(張)工	15 擁壁工 共通	4	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積) (コンクリートブロック石積(張)工)	基準高	▽
						法	φ<3m
						長	φ≧3m
						厚さ(ブロック積張)	t1
						厚さ(裏込)	t2
11 治山編	1 山腹基礎工及び落石防止工	3 土留工	2 3		(一般事項) 場所打擁壁工	基準高	▽
						厚さ	t
						裏込厚さ	w1、w2
						幅	-30
						延長	-200
11 治山編	2 一般施工	15 擁壁工 共通	2		プレキャスト擁壁工	基準高	▽
						延長	
							±50
							-200
11 治山編	2 一般施工	15 擁壁工 共通	3		補強土壁工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	基準高	▽
						高さ	h
						長さ	h
						鉛直度	Δ
						控え長さ	±0.03hかつ±300以内
11 治山編	3 石・ブロック積(張)工	15 擁壁工 共通	4	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積) (コンクリートブロック石積(張)工)	基準高	▽
						法	φ<3m
						長	φ≧3m
						厚さ(ブロック積張)	t1
						厚さ(裏込)	t2
11 治山編	1 山腹基礎工及び落石防止工	3 土留工	2 3		(一般事項) 場所打擁壁工	基準高	▽
						厚さ	t
						裏込厚さ	w1、w2
						幅	-30
						延長	-200
11 治山編	2 一般施工	15 擁壁工 共通	2		プレキャスト擁壁工	基準高	▽
						延長	
							±50
							-200
11 治山編	2 一般施工	15 擁壁工 共通	3		補強土壁工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	基準高	▽
						高さ	h
						長さ	h
						鉛直度	Δ
						控え長さ	±0.03hかつ±300以内
11 治山編	3 石・ブロック積(張)工	15 擁壁工 共通	4	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積) (コンクリートブロック石積(張)工)	基準高	▽
						法	φ<3m
						長	φ≧3m
						厚さ(ブロック積張)	t1
						厚さ(裏込)	t2
11 治山編	1 山腹基礎工及び落石防止工	3 土留工	2 3		(一般事項) 場所打擁壁工	基準高	▽
						厚さ	t
						裏込厚さ	w1、w2
						幅	-30
						延長	-200
11 治山編	2 一般施工	15 擁壁工 共通	2		プレキャスト擁壁工	基準高	▽
						延長	
							±50
							-200
11 治山編	2 一般施工	15 擁壁工 共通	3		補強土壁工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	基準高	▽
						高さ	h
						長さ	h
						鉛直度	Δ
						控え長さ	±0.03hかつ±300以内
11 治山編	3 石・ブロック積(張)工	15 擁壁工 共通	4	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積) (コンクリートブロック石積(張)工)	基準高	▽
						法	φ<3m
						長	φ≧3m
						厚さ(ブロック積張)	t1
						厚さ(裏込)	t2
11 治山編	1 山腹基礎工及び落石防止工	3 土留工	2 3		(一般事項) 場所打擁壁工	基準高	▽
						厚さ	t
						裏込厚さ	w1、w2
						幅	-30
						延長	-20

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
11	1 山腹基礎工及び落石防止工	3 石・ブロック積（張）工	4	2	コンクリートブロック工 （連節コンクリートブロック張）	基準高 ▽ 法長 φ 延長 L1、L2	±50 -100 -200
11	1 山腹基礎工及び落石防止工	3 石・ブロック積（張）工	4	3	緑化ブロック工	基準高 ▽ 法長 φ<3m φ≥3m 厚さ(ブロック積張) t1 厚さ(蓋込) t2 延長	±50 -50 -100 -50 -50 -200
11	1 山腹基礎工及び落石防止工	3 石・ブロック積（張）工	6		井桁ブロック工 鉄筋コンクリート枠土留工	基準高 ▽ 法長 φ<3m φ≥3m 厚さ t 延長	±50 -50 -100 -50 -200
11	1 山腹基礎工及び落石防止工	3 土留工	8		校倉式木製土留工	基準高 ▽ 高さ h1 幅 W1 延長	±100 ±100 -50 -200

測定基準	測定箇所	摘要
施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 法草は、上記のほか1に始終点を加える。 厚さは上端部、下端部の2箇所を測定。		
1 延長40mごと又は高さごとに1箇所かつ最低2箇所。 2 高さは、上記のほか1に高さの変化点及び始終点を加える。		
1 各項目とも施工延長40mごとに1箇所かつ最低2箇所。 2 高さは、上記のほか1に始終点を加える。 3 幅は上端部を測定。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
11	治 山 編	1 山 腹 基 礎 工 及 び 落 石 防 止 工	3		張芝水踏工	深さ	-50
						幅	-50
						延長	-200
11	治 山 編	6 暗 渠 工	2		横暗渠工	幅	-50
						高さ	-30
						延長	-200
11	治 山 編	6 暗 渠 工	4		集水管暗渠工	延長	-200
11	治 山 編	7 法 面 工 共 通			法枠工 (現場打法枠工) (現場敷付法枠工)	法長	-100
						枠幅	-30
						枠高	-30
						枠中心間隔	±100
						区間長	-50
11	治 山 編	3 柵 工			柵工 (編柵、木柵、板柵及び 二次製品を用いるもの を含む)	高さ	-30
						柵間隔	+20
						延長	-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
延長40mごとに1箇所かつ最低2箇所 全数管理		
延長40mごとに1箇所かつ最低2箇所		
全数管理		
施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所 200mにつき1箇所以上、200m以下は2箇所をせ んれにより測定。なお、枠中心間隔について、端 部、曲線部等による調整枠の箇所は、規格値の下 限値を適用しない。 展開図で全数管理 ※ 管理図によることができる。		
1 延長40mごとに1箇所かつ最低2箇所 2 階段をなすものは5段ごとに1回 平面図で全数管理 ※延長は、青丸太の高さ45cmが確保できているこ とが写真等でも確認できる場合は、杭に関係なく青 丸太の延長で管理する。		

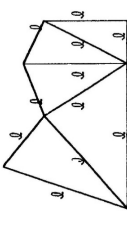
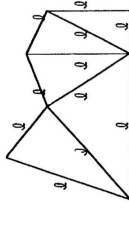
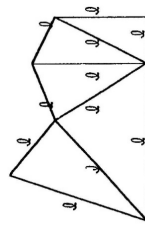
3 出来形管理基準及び規格値

(単位: mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
11 治 山 編	2 山 腹 緑 化 工	4 筋 工		1	筋工 (石筋、萱筋、芝筋、そ だ筋及び二次製品を用 いるものを含む)	高さ h	±50
						延長 L	-200
11 治 山 編	2 山 腹 緑 化 工	4 筋 工		2	積苗工 (二次製品を用いるも のを含む)	高さ h	±50
						延長 L	-200
11 治 山 編	2 山 腹 緑 化 工	5 伏 工		1	伏工 (芝伏、そだ伏、むしろ 伏、わら伏、網伏及び 二次製品を用いるもの を含む)	区間長 Q	-50
		6 芝 付 工	1	1	芝付工 (張芝工) (筋芝工) (市松芝工)		
11 治 山 編	2 山 腹 緑 化 工	7 実 播 工	1	2	実播工 (種子吹付工)	区間長 Q	-50
		7 実 播 工	1	2	実播工 (種子吹付工) (客土吹付工)	厚 さ t	-10 -20
11 治 山 編	2 山 腹 緑 化 工	9 セ メ ン ト 類 吹 工			吹付工(仮設を含む) (コンクリート) (モルタル)	厚 さ t	-10 -20
						区間長 Q	-50
		2 山 腹 緑 化 工					

3 出来形管理基準及び規格値

(単位: mm)

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 延長40mごとに1箇所かつ最低2箇所 2 階段をなすものは5段ごとに1回 平面図で全数管理		
1 延長40mごとに1箇所かつ最低2箇所 2 階段をなすものは5段ごとに1回 平面図で全数管理		
展開図で全数管理 ※ 管理図によることができる。		
200㎡につき1箇所以上、200㎡以下は2箇所。 検査孔により測定。 展開図で全数管理 ※ 管理図によることができる。		
200㎡につき1箇所以上、200㎡以下は2箇所。 検査孔により測定。 展開図で全数管理 ※ 管理図によることができる。		

3 出来形管理基準及び規格値

(単位: mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
11 治山編	2 山腹緑化工	10 土壘工			土壘工	高さ	h
						延長	L
11 治山編	2 山腹緑化工	11 植栽工	3		植付	植穴深さ	d
						植穴径	φ
11 治山編	3 溪間工	4	1		治山ダム工(コンクリート) (堰堤工) (谷止工) (床固工) (帯工) (垂直壁) (副堤)	基準高	▽
						天放水路端幅	w1
11 治山編	3 溪間工	4	2		御壁工 (コンクリート) (コンクリートブロック工) (ふせんかこ)	幅	w1、w2
						延長	L
11 治山編	3 溪間工	4				延長	L
						延長	L
11 治山編	3 溪間工	4				水幅	w3、w4
						断面高さ	h
11 治山編	3 溪間工	4				基準高	▽
						厚さ	t
11 治山編	3 溪間工	4				幅	w
						延長	L

3 出来形管理基準及び規格値

(単位: mm)

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
延長40mごとに1箇所かつ最低2箇所 平面図で全数管理		
200本に1箇所かつ最低2箇所		
1 構造図の寸法表示箇所 2 基準高は、堤体の中心線とする。 3 幅、長さは各打設ロットごととし、設計幅及び設計長さはロット高に対応させ得るものとする。		
1 構造図の寸法表示箇所 2 厚さ、のり勾配等の構造物駆体の管理は、現場打擁壁工、コンクリートブロック工及び羽口工の管理に準じる。		
1 構造図の寸法表示箇所 2 厚さは、目地及びその中点		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
11 治 山 編	3 渓 間 工	5		1	治山ダム(鋼製) (不透過型)	基準高	▽ ±50
						水通し幅	Q ±100
						下流側倒れ部	w1、w2 ±50
						袖部	δ ±0.02h
						袖部	▽ ±50
11 治 山 編	3 渓 間 工	5		2	治山ダム(鋼製) (透過型)	堰幅	w2 ±50
						下流側倒れ部	δ ±0.02h
						堰長	L ±50
						堰高	H ±10
						堰底高	±5
11 治 山 編	3 渓 間 工	5		3	鋼製側壁工	基準高	▽ ±50
						幅	w1、w2 ±50
						高さ	h -50
						長さ	L ±100
						下流側倒れ	△ ±0.02h
11 治 山 編	3 渓 間 工	6	2		治山ダム(枝倉式木製)	基準高	▽ ±100
						幅	w1、w2、W3 -50
						延長	L -100
						下流側倒れ	△ ±0.02h
						堰底高	±50
11 治 山 編	3 渓 間 工	10	2 3 4 5		コンクリート三面張流路工 鉄筋コンクリート流路工 コンクリートブロック流路工 木製流路工	基準高	▽ ±50
						底壁厚	t -20
						流路幅	b ±30
						流路高	h ±30
						延長	L -50

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
構造図の寸法表示箇所		
構造図の寸法表示箇所		
構造図の寸法表示箇所		
構造図の寸法表示箇所		
1 構造図の寸法表示箇所 2 基準高は、堤体の中心線上とする。		
1 各測点ごと又は延長40mごとに1箇所かつ最低2箇所 2 両岸の構造物躯体の管理は、現場打擁壁工、コンクリートブロック工に準じる。		

3 出来形管理基準及び規格値

(単位: mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
11 治 山 編	5 海 岸 砂 地 造 林	4 砂 地 造 林	1		積砂埋工	高さ	h ±100
						幅	b1 -100
						区間幅	b2、b3 ±50
						延長	L -100
11 治 山 編	5 海 岸 砂 地 造 林	4 砂 地 造 林	2		植栽工 (防風柵) (防風ネット)	高さ	h ±200
						延長	L -100
11 治 山 編	6 海 岸 工 事	3 海 岸 工 事 コンクリート	5	4	相詰めブロック製作 (異形ブロック) ブロック外観 (異形ブロック)	型枠形状寸法	観察
						観察	観察
						観察	観察
12 林 道 編	1 林 道 工	1 適 用	1		平面	角度	θ ±1° (±30')
						IP間距離	DM ±100
						測点間距離	Ln ±100
						基準高	▽ ±100
12 林 道 編	1 林 道 工	1 適 用			縦断	幅	b 片側-25 (-50)
						法長	∅ -4%
						法長	∅ -4%
12 林 道 編	3 路 盤 工	3 路 盤 工	2		切込砕石路盤工	幅	b -50
						厚さ	t -20
						厚さ	t -20
12 林 道 編	1 林 道 工	3 路 盤 工	3		コンクリート路面工	幅	b -30
						厚さ	t -15
						厚さ	t -15
12 林 道 編	1 林 道 工	7 法 面 工			丸太法面保護工		

3 出来形管理基準及び規格値

(単位: mm)

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長40mにつき1箇所かつ最低2箇所		
施工延長40mにつき1箇所かつ最低2箇所		
型枠撤入後適宜		
10箇に1個		
1 各IPにおける内角又は交角、IP間距離(DM)、No測点間距離 2 ()は交角の場合に適用 3 仮設道は距離(延長)のみ 4 基準高はNo測点(中心線)及び起終点(路盤工上部)		
1 施工延長40mにつき1箇所かつ最低2箇所 2 幅は中心線からの距離 3 ()は全幅員で仮設道の場合に適用		
1 施工延長40mにつき1箇所かつ最低2箇所 2 厚さは両端部の2点		
1 施工延長40mにつき1箇所かつ最低2箇所		
平面において全数管理		枚数管理

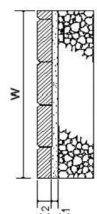
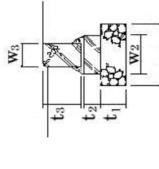
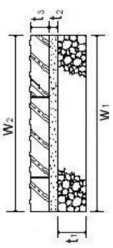
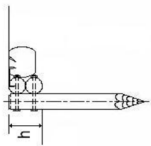
3 出来形管理基準及び規格値

(単位: mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
13 自然公園編	1 自然公園施設整備工	4 歩道整備工		1	路盤工(歩道工) (レンガ・タイル系歩道工) (樹脂系歩道工) (石材系歩道工)	幅	w
						厚さ	t
13 自然公園編	1 自然公園施設整備工	4 歩道整備工		2	表層工(歩道工) (ダスト・土系歩道工) (レンガ・タイル系歩道工) (木チップ歩道工) (樹脂系歩道工) (石材系歩道工)	幅	w
						厚さ	t1, t2
13 自然公園編	1 自然公園施設整備工	4 歩道整備工	12		歩道縁石工	基礎 碎石	幅 w1
						厚さ	t1
						基礎 コンクリート	幅 w2
						高さ	h
						幅	W
						厚さ	t2
13 自然公園編	1 自然公園施設整備工	4 歩道整備工	13		擁壁・障害物誘導ブロック工	延長	L
						路盤工	幅 w1
						厚さ	t1
						表層工	幅 w2
						厚さ	t2
13 自然公園編	1 自然公園施設整備工	4 歩道整備工	15		階段工 (コンクリート階段工) (凝石階段工) (自然石階段工) (丸木階段工)	基礎	幅 w1
						厚さ	t
						高さ	h
						延長	L
						段数	n
13 自然公園編	1 自然公園施設整備工	5 管路整備工	1		給水管路工	深さ	d
						延長	L

3 出来形管理基準及び規格値

(単位: mm)

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長40mにつき1箇所(延長40m以下は1箇所)		
施工延長40mにつき1箇所(延長40m以下は1箇所)とし、厚さは500mm(500未満施工箇所は2箇所)に1箇の割合でコアーを採取若しくは掘り起こしで測定。		
施工延長40mにつき1箇所(延長40m以下は1箇所)		
施工延長40mにつき1箇所(延長40m以下は1箇所)		
同一規格について3箇所ごとに1箇所測定。 施工延長40mにつき1箇所(延長40m以下は1箇所)		
施工延長40mにつき1箇所(延長40m以下は1箇所)		

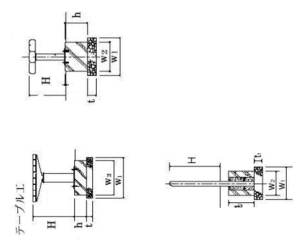
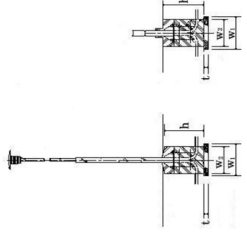
3 出来形管理基準及び規格値

(単位: mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
13 自然公園編	1 自然公園施設整備工	5 管路整備工	4		電線管路工	深さ	d
						延長	L
							-30 -200
13 自然公園編	1 自然公園施設整備工	6 利用施設整備工			利用施設整備工 (四阿工) (バーコラ工) (ベンチ・テーブル工) (野外炉工) (車止め工)	基礎 砕石	幅 w1
						厚さ	t
						基礎 コンク リート	幅 w2 高さ h H ±30
13 自然公園編	1 自然公園施設整備工	7 照明設備工			照明設備工	基礎 砕石	幅 w1
						厚さ	t
						基礎 コンク リート	幅 w2 高さ h -50 -30 -20 -30
13 自然公園編	1 自然公園施設整備工				木道工	基準高	▽
						基礎 砕石	w1
						厚さ	t
13 自然公園編	1 自然公園施設整備工				木橋工(歩道工)	基準高	▽
						基礎 砕石	w
						厚さ	t
13 自然公園編	1 自然公園施設整備工					高さ	h
						幅	W
						延長	L

3 出来形管理基準及び規格値

(単位: mm)

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長40mにつき1箇所(延長40m以下は1箇所)		
同一規格について3箇所ごとに1箇所測定。		
全数測定		
施工延長40mにつき1箇所(延長40m以下は1箇所)		
同一規格について3箇所ごとに1箇所測定。		
1箇所当たり両端と中央部の3箇所測定。		